

小数と整数のかけ算、わり算 ①

(教科書 77 ~ 80 ページ)

4年	名
組	前

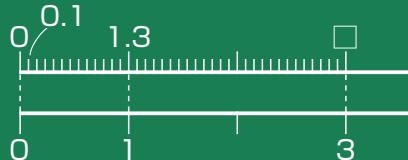
◆小数に整数をかける計算

① 1.3×3 の計算のしかたを考えましょう。

1.3×3

- かけられる数の 1.3 は、 0.1 を 13 こあつめた数です。

- 1.3×3 の積は、 0.1 を $(\quad) \times (\quad)$ こあつめた数です。



- $13 \times 3 = 39$ だから、 1.3×3 の積は、 0.1 を \square こあつめた数です。

$$1.3 \times 3 = \square$$

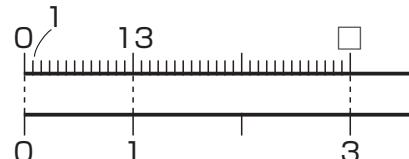
13×3 の計算のしかたとくらべながら考えてみよう。



13×3

- かけられる数の 13 は、 1 を 13 こあつめた数です。

- 13×3 の積は、 1 を (13×3) こあつめた数です。

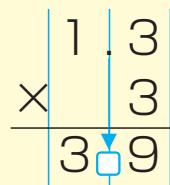
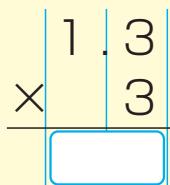
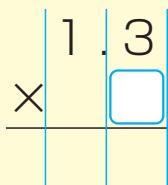


$$13 \times 3 = 39$$

- 1.3×3 の答えは、 13×3 の答えの $\frac{1}{10}$ です。

$$1.3 \times 3 = \square$$

② 1.3×3 の筆算は、次のようにします。



① かけられる数とかける数を、右にそろえて書く。

② 小数点がないものとして、整数のかけ算と同じように計算する。

③ かけられる数の小数部分のけた数と同じになるように、積の小数点をうつ。

1.3 × 3 は 0.1 をもとにすると、 13×3 と考えられるね。



1.3 × 3 の積は、 13×3 の積の $\frac{1}{10}$ だね。



小数と整数のかけ算、わり算 ②

(教科書 81 ~ 82 ページ)

4年	名
組	前

◆いろいろな小数×整数の筆算

$$① \quad 2.8 \times 34$$

$$\begin{array}{r} 2.8 \\ \times 34 \\ \hline \end{array}$$

$$② \quad 1.38 \times 7$$

$$\begin{array}{r} 1.38 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$$

$$③ \quad 2.35 \times 4$$

$$\begin{array}{r} 2.35 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

$$④ \quad 0.045 \times 13$$

$$\begin{array}{r} 0.045 \\ \times 13 \\ \hline \end{array}$$

2.8 × 34 の筆算のしかた

- ①かけられる数とかける数を、右にそろえて書く。
- ②小数点がないものとして、整数のかけ算と同じように計算する。
- ③かけられる数の小数部分だけた数と同じになるように、積の小数点をうつ。

かけられる数を 100 倍すると、
138 × 7 同じように計算できる。

138 × 7 の答えを $\frac{1}{100}$ にすると、
1.38 × 7 の答えを求めることが
できるね。



2.35 は 2 よりも少し
大きい数だから、4 を
かけた大きさは…。



2.35 × 4 の答えは 9.40 で、
9.4 と同じ大きさだから、0 は
線で消して、9.4 とするよ。

0.045 を 10 倍した大きさは
0.45 だね。



小数と整数のかけ算、わり算 ③

(教科書 77 ~ 82 ページ)

4年	名
組	前

◆練習

① 0.8×9

0	.	8
x		9

② 4.7×8

x

③ 13.6×4

x

④ 5.3×16

5	.	3
x	1	6

⑤ 0.7×59

x

⑥ 3.46×28

x

⑦ 0.64×49

$$\begin{array}{r} 0.64 \\ \times 49 \\ \hline \end{array}$$

⑧ 2.68×5

⑨ 3.25×4

⑩ 0.032×5

$$\begin{array}{r} 0.032 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$$

⑪ 0.703×69

⑫ 2.745×38

小数と整数のかけ算、わり算 ④

(教科書 83 ~ 85 ページ)

4年	名
組	前

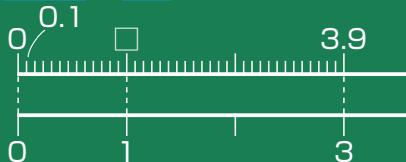
◆小数を整数でわる計算

- ① $3.9 \div 3$ の計算のしかたを考えましょう。

$3.9 \div 3$

- わられる数の3.9は、0.1を39こあつめた数です。

- $3.9 \div 3$ の商は、0.1を
(\square \div \square) こあつめた数です。



- $39 \div 3 = 13$ だから、
 $3.9 \div 3$ の商は、0.1を \square こあつめた数です。

$$3.9 \div 3 = \square$$

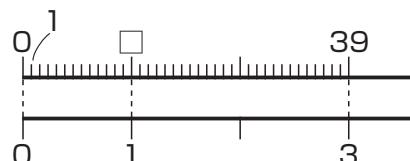
$39 \div 3$ の計算のしかたと
くらべながら考えてみよう。



$39 \div 3$

- わられる数の39は、1を39こあつめた数です。

- $39 \div 3$ の商は、1を
($39 \div 3$) こあつめた数です。



$$39 \div 3 = 13$$

- $3.9 \div 3$ の答えは、 $39 \div 3$ の答えの $\frac{1}{10}$ です。

$$3.9 \div 3 = \square$$

- ② $3.9 \div 3$ の筆算は、次のようにします。

$$\begin{array}{r} & \boxed{1} \\ 3) & 3.9 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} & 1 \boxed{0} \\ 3) & 3.9 \\ & 3 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} & 1. \boxed{0} \\ 3) & 3.9 \\ & 3 \\ \hline & 9 \\ & \boxed{0} \end{array}$$

① 整数部分の計算をする。

② 商の小数点を、わられる
数の小数点にそろえてうつ。

③ 整数のわり算と同じよう
に、つづきを計算する。



$3.9 \div 3$ の商は、
 $39 \div 3$ の商の $\frac{1}{10}$ だね。

小数と整数のかけ算、わり算 ⑤

(教科書 86 ~ 87 ページ)

4年	名
組	前

◆いろいろな小数÷整数の筆算

① $7.2 \div 8$

0
8) 7.2

② $80.6 \div 26$

2 6) 8 0.6

③ $14.16 \div 6$

6) 1 4.1 6

④ $5.472 \div 18$

1 8) 5.4 7 2

7.2 ÷ 8 の筆算のしかた

- ①わられる数よりわる数のほうが大きいので、一の位に商はたたないから、0をたてる。
- ②商の小数点を、わられる数にそろえてうつ。
- ③ $8) \overline{72}$ と同じようにして、つづきを計算する。

80.6 ÷ 26(わる数が2けた)の筆算のしかた

- ①整数部分の計算をして、一の位に3をたてる。
- ②商の小数点を、わられる数にそろえてうつ。
- ③ $806 \div 26$ と同じようにして、つづきを計算する。

14.16 ÷ 6(わられる数が $\frac{1}{100}$ の位まで) の筆算のしかた

- ①整数部分の計算をして、一の位に2をたてる。
- ②商の小数点を、わられる数にそろえてうつ。
- ③ $1416 \div 6$ と同じようにして、つづきを計算する。

5.472 ÷ 18(わられる数が $\frac{1}{1000}$ の位まで) の筆算のしかた

- ①わられる数よりわる数のほうが大きいので、一の位に商はたたないから、0をたてる。
- ②商の小数点を、わられる数にそろえてうつ。
- ③次に、 $54 \div 18$ の計算をして、 $\frac{1}{10}$ の位に3をたてる。
- ④ $5472 \div 18$ と同じようにして、つづきを計算する。

小数と整数のかけ算、わり算 ⑥

(教科書 83 ~ 87 ページ)

4年	名
組	前

◆練習

① $7.2 \div 6$

$$\begin{array}{r} 6) 7.2 \\ \hline \end{array}$$

② $6.4 \div 2$

$$\begin{array}{r} 2) 6.4 \\ \hline \end{array}$$

③ $11.2 \div 4$

$$\begin{array}{r} 4) 11.2 \\ \hline \end{array}$$

④ $27.2 \div 8$

$$\begin{array}{r} 8) 27.2 \\ \hline \end{array}$$

⑤ $2.7 \div 9$

$$\begin{array}{r} 9) 2.7 \\ \hline \end{array}$$

⑥ $4.2 \div 7$

$$\begin{array}{r} 7) 4.2 \\ \hline \end{array}$$

⑦ $93.6 \div 36$

⑧ $21.6 \div 54$

⑨ $39.68 \div 16$

$36) \overline{93.6}$

⑩ $2.88 \div 48$

⑪ $4.913 \div 17$

⑫ $0.576 \div 72$

$48) \overline{2.88}$

小数と整数のかけ算、わり算 ⑦

(教科書 88 ~ 89 ページ)

4年	名
組	前



◆わり進むわり算

4.5m のひもを 6 等分すると、1 本分の長さは何 m になるでしょうか。
わりきれるまで計算しましょう。

$$4.5 \div 6 =$$

答え

$$6) \overline{0. \square} \\ 4.5$$

$$6) \overline{0.7} \\ 4.50 \\ \underline{-42} \\ 3 \square$$

$$6) \overline{0.75} \\ 4.50 \\ \underline{-42} \\ 30$$

・4.5を4.50とみて、
0をおろす。

・つづきを計算する。



◆商の四捨五入

商は四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位までのがい数で求めましょう

① $11 \div 3$

② $8 \div 9$

③ $3.5 \div 16$

$$3) \overline{11}$$

小数と整数のかけ算、わり算 ⑧

(教科書90ページ)

4年	名
組	前



◆あまりのあるわり算

9.3m のひもを 4m ずつ切っていきます。
4m のひもは何本できて、何 m あまるでしょうか。

$$9.3 \div 4 = \boxed{} \text{あまり} \boxed{}$$

4m のひものできる本数は
整数で答えることになるから、
商は一の位まで求めればいいね。



答え できて、 あまる。

$$4 \overline{) 9.3} \\ \underline{-8} \\ 1\ 3$$

$$4 \overline{) 9.3} \\ \underline{-8} \\ 1\ \downarrow 3$$

・一の位まで計算する。

・おろした 13 は、0.1 が 13 こ分
なので、小数点をうって、1けた
位を下げる。

あまりの小数点は、わられる数の
小数点にそろえてうつよ。



◆練習

わりきれるまで計算しましょう。

① $15.3 \div 6$

② $1.83 \div 15$

③ $9 \div 12$

$$6 \overline{) 15.3}$$

小数と整数のかけ算、わり算 ⑨

(教科書91～93ページ)

4年	名
組	前



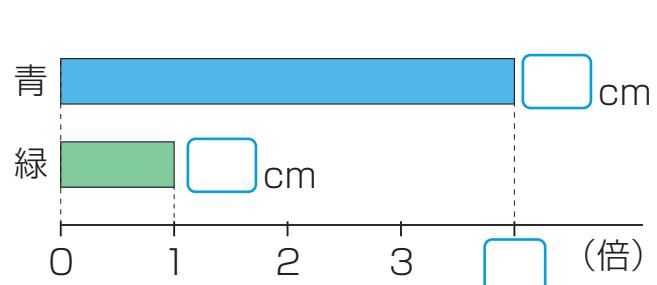
◆倍の計算

120cmの青のテープ、75cmの赤のテープ、30cmの緑のテープがあります。
青や赤のテープの長さは、それぞれ緑のテープの長さの何倍でしょうか。

① 青のテープの長さは、緑のテープの長さの何倍でしょうか。

式 $120 \square 30 = \square$

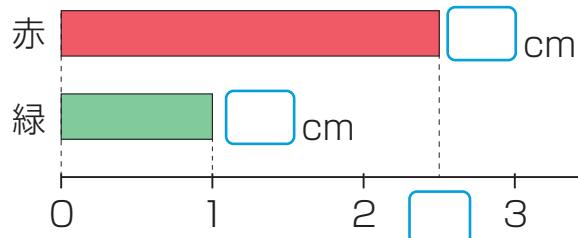
答 $\underline{\hspace{2cm}}$



② 赤のテープの長さは、緑のテープの長さの何倍でしょうか。

式 $\square = \square$

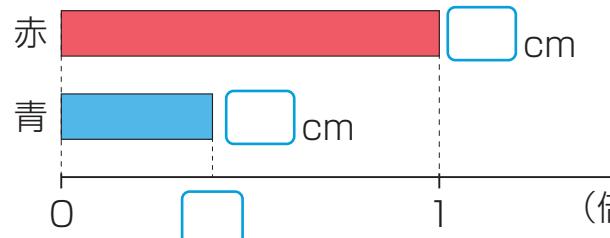
答 $\underline{\hspace{2cm}}$



赤のリボンの長さは 50cm で、青のリボンの長さは 20cm です。
青のリボンの長さは、赤のリボンの長さの何倍でしょうか。

式 $\square = \square$

答 $\underline{\hspace{2cm}}$



2.5倍や0.4倍のように
何倍かを表す数が
小数になることもあるよ。

立体 ①

(教科書 101 ~ 104 ページ)

4年

名

組 前



◆直方体と立方体

めん ちゃくもく はこ
面の形に着目して、箱をなかま分けしましょう。

あ



い



う



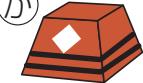
え



お



き



はこ
長方形だけでできている箱

はこ
長方形と正方形でできている箱

はこ
正方形だけでできている箱



ことば
にあてはまる言葉や数を書きましょう。

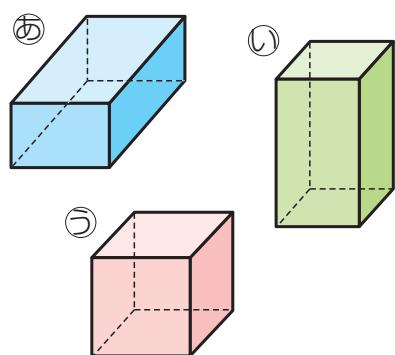
① 長方形だけで囲まれた形や、長方形と正方形で囲まれた形を といいます。

② 正方形だけで囲まれた形を といいます。

③ 平らな面のことを といいます。

④ 右の形の、面、頂点、辺の数を書きましょう。

	あ	い	う
名前	直方体	直方体	立方体
長方形の面			
正方形の面		2	
頂点			
辺			



立体 ②

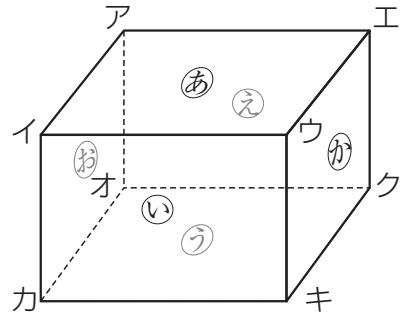
(教科書 105 ~ 107 ページ)

4年	名
組	前



◆面や辺の垂直と平行

直方体の面や辺のならび方や
交わり方を調べましょう。

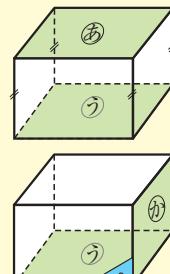


① 面④と面⑦はどこまで広げても交わりません。

面④と面⑦は です。

面⑦と面⑥が交わっているところは直角になっています。

面⑦と面⑥は です。



② 面⑦と垂直な面をすべて書きましょう。

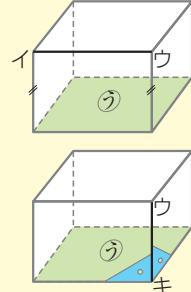
面④、

③ 面⑦と辺イウはどこまでのばしても交わりません。

面⑦と辺イウは です。

面⑦と辺ウキが交わっているところは直角になっています。

面⑦と辺ウキは です。



④ 面⑦と平行な辺をすべて書きましょう。

辺イウ、

面⑦と垂直な辺をすべて書きましょう。

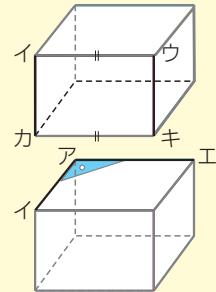
辺ウキ、

⑤ 辺イカと辺ウキはどこまでのばしても交わりません。

辺イカと辺ウキは です。

辺アイと辺アエが交わっているところは直角になっています。

辺アイと辺アエは です。



⑥ 辺イカと平行な辺をすべて書きましょう。

辺ウキ、

辺アイと垂直な辺をすべて書きましょう。

辺アエ、

立体 ③

(教科書) 108 ~ 110 ページ)

4年
名
組 前

◆展開図と見取図

直方体や立方体などを辺にそって切り開いて、平面の上に広げてかいた図を、
展開図というよ。



見ただけで全体のおよその形がわかる図を、見取図というよ。

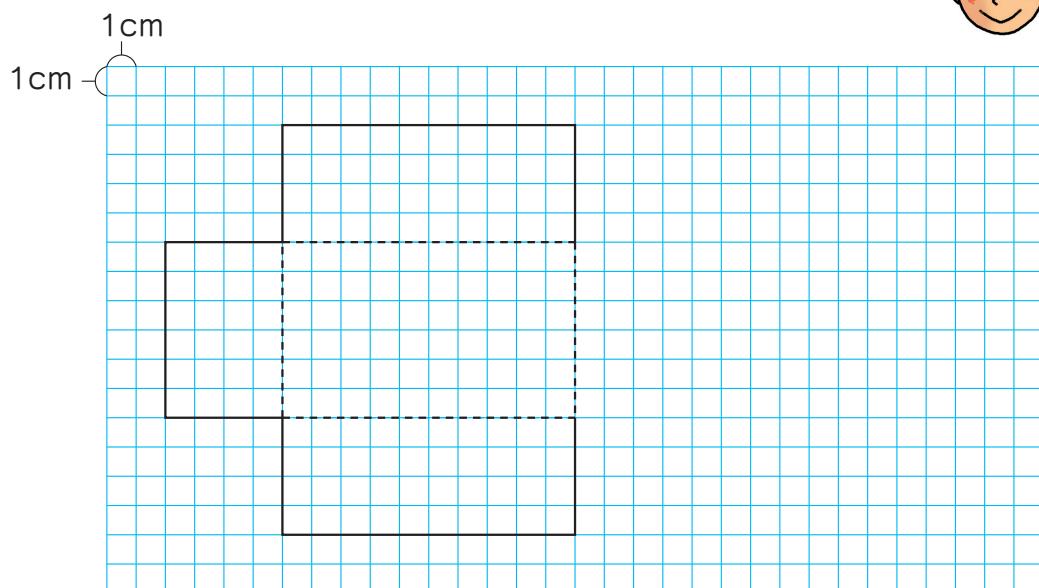
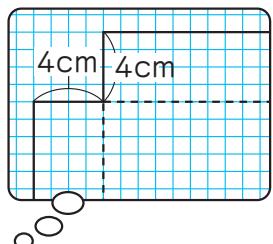


たて 6cm、横 10cm、高さ 4cm の直方体の展開図のつづきをかきましょう。



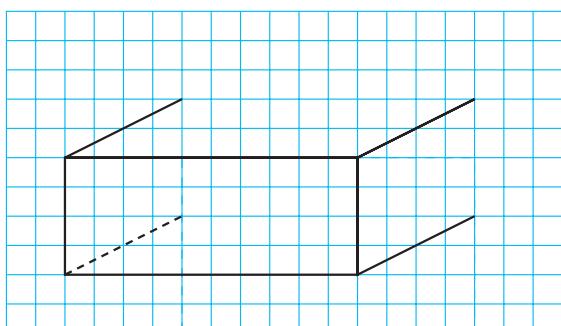
たて 6cm、横 4cm の長方形、
たて 4cm、横 10cm の長方形、
たて 6cm、横 10cm の長方形が
それぞれ 2 つずつできるよ。

組み立てたときに
重なる辺は、同じ
長さになるね。



見取図のつづきをかきましょう。

見取図は、ななめ上から
見たような図だね。



ひと
長さの等しい辺どうしは、同じ
長さになるようにかくよ。
平行な辺どうしは、平行になる
ようにかくよ。



分数の大きさとたし算、ひき算 ①

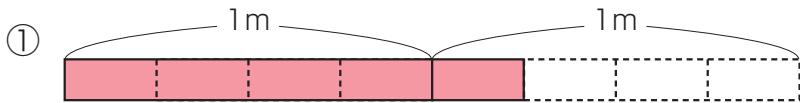
(教科書 117~119 ページ)

4年	名
組	前



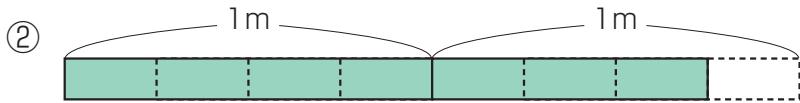
◆ 1 より大きい分数

下のテープの長さを、仮分数と帯分数で表しましょう。



仮分数

帯分数



仮分数

1m を、4 等分に
しているね。

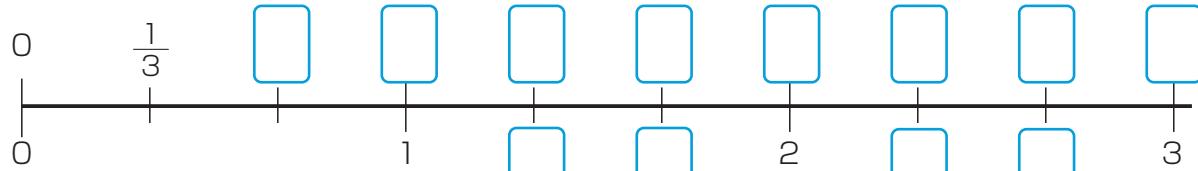


分子が分母と等しいか、
分子が分母より大きい分数を
仮分数というね。

整数と真分数の和で
あらわ
表されている分数を
帯分数というね。



真分数や仮分数、帯分数の大きさについて調べましょう。



上の には真分数か仮分数、
下の には帯分数を書こう。



① $\frac{4}{3}$ と $\frac{5}{3}$ では、 のほうが だけ大きい。

② $1\frac{2}{3}$ と $2\frac{1}{3}$ では、 のほうが だけ大きい。

1 を 3 等分しているから、
1 こ分の大きさは
だね。



数の大小をくらべて、 に不等号を書きましょう。

① $\frac{17}{6} \quad \boxed{} \quad \frac{11}{6}$

② $3\frac{1}{7} \quad \boxed{} \quad 2\frac{6}{7}$

③ $\frac{7}{8} \quad \boxed{} \quad 1\frac{1}{8}$

分数の大きさとたし算、ひき算 ②

(教科書 120 ~ 121 ページ)

4年	名
組	前



$\frac{9}{4}$ と $2\frac{3}{4}$ の大きさをくらべましょう。

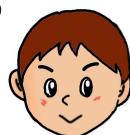
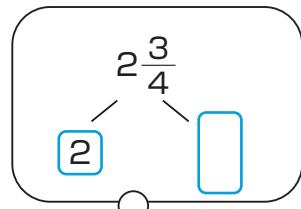
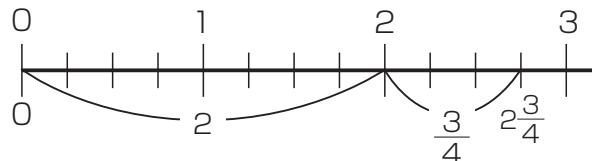
① $2\frac{3}{4}$ を仮分数で表しましょう。

かぶんすう
仮分数どうし、たいぶんすう
たいぶんすう
だつたらくらべられるね。



- 1は $\frac{1}{4}$ の□こ分の数、2は $\frac{1}{4}$ の($4 \times$ □)こ分の数です。
- だから、 $2\frac{3}{4}$ は、 $\frac{1}{4}$ の($4 \times 2 +$ □)こ分の数です。

$$2\frac{3}{4} = \frac{\square}{4}$$



② $\frac{9}{4}$ を帯分数で表しましょう。

$\frac{9}{4}$ の中に1が何こあるのかを
考えればいいね。

- 1 = $\frac{\square}{4}$ だから、 $\frac{9}{4}$ の中に $\frac{4}{4}$ が何こあるかを考えます。

$$9 \div 4 = \square \text{あまり } \square$$



- $\frac{9}{4}$ は、1を□こと、 $\frac{1}{4}$ を□こあわせた数です。

$$\frac{9}{4} = \square \frac{\square}{\square}$$



③ □にあてはまる不等号を書きましょう。

$$\frac{9}{4} \quad 2\frac{3}{4}$$

◆練習

① □にあてはまる不等号を書きましょう。

$$\frac{19}{7} \quad 2\frac{6}{7} \quad 5\frac{1}{3} \quad \frac{17}{3}$$

② ()の中の数を、大きい順に書きましょう。

$$(\frac{21}{8}, 3, 2\frac{7}{8}, \frac{25}{8}) \rightarrow$$

--

分数の大きさとたし算、ひき算 ③

(教科書 124 ~ 125 ページ)

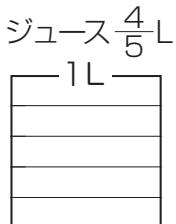
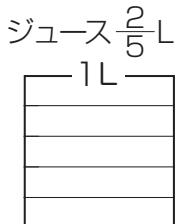
4年	名
組	前



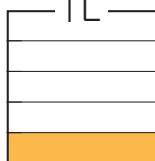
◆分数のたし算

$\frac{2}{5}$ L のジュースと $\frac{4}{5}$ L のジュースをあわせると、何L になるでしょうか。

① 色をぬって、ジュースの量を図に表しましょう。



1L を 5 等分した 1 つ分は
 $\frac{1}{5}$ Lだから…。



② $\frac{2}{5}$ L と $\frac{4}{5}$ L をあわせると、 $\frac{1}{5}$ L が (□ + □) こ分になります。

③ $\frac{2}{5}$ L と $\frac{4}{5}$ L をあわせた量を求めるましょう。

式 $\frac{2}{5} + \frac{4}{5} = \frac{\square}{5}$

答え



$2\frac{3}{7} + 1\frac{2}{7}$ の計算のしかたを考えましょう。

式 $2\frac{3}{7} + 1\frac{2}{7} = \boxed{}$

整数と真分数に分けて計算すると…。

$$2\frac{3}{7} + 1\frac{2}{7} = \boxed{} + \frac{\boxed{}}{7}$$


$1\frac{4}{7} + 2\frac{5}{7}$ を、それぞれ整数と真分数に分けて、整数どうし、真分数どうしで計算しましょう。

式 $1\frac{4}{7} + 2\frac{5}{7} = 3\frac{\square}{7}$
 $= \boxed{} + \frac{\boxed{}}{7}$

帯分数は整数と真分数の和で表すから…。



分数の大きさとたし算、ひき算 ④

(教科書 126 ~ 127 ページ)

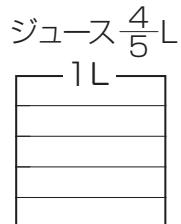
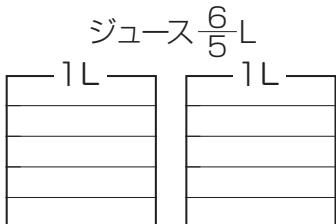
4年	名
組	前



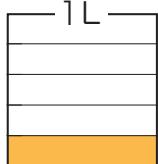
◆分数のひき算

$\frac{6}{5}$ L のジュースと $\frac{4}{5}$ L のジュースの量のちがいは何L でしょうか。

① 色をぬって、ジュースの量を図に表しましょう。



1L を 5 等分した 1 つ分は
 $\frac{1}{5}$ Lだから…。



② $\frac{6}{5}$ L と $\frac{4}{5}$ L のちがいは、 $\frac{1}{5}$ L が (□ - □) こ分になります。

③ $\frac{6}{5}$ L と $\frac{4}{5}$ L のちがいを求めるましょう。

式 $\frac{6}{5} - \frac{4}{5} = \frac{\square}{5}$

答え

$\frac{1}{5}$ がどこあるかを
求める計算なんだね。



$2\frac{6}{7} - 1\frac{4}{7}$ の計算のしかたを考えましょう。

式 $2\frac{6}{7} - 1\frac{4}{7} = \boxed{}$

整数と真分数に分けて計算すると…。
 $2\frac{6}{7} - 1\frac{4}{7} = \boxed{}\frac{\boxed{}}{7}$



假分数になおして計算すると…。
 $2\frac{6}{7} - 1\frac{4}{7} = \boxed{}\frac{\boxed{}}{7} - \boxed{}\frac{\boxed{}}{7}$



$3\frac{1}{7} - 1\frac{4}{7}$ の計算のしかたを考えましょう。

式 $3\frac{1}{7} - 1\frac{4}{7} = 2\frac{\boxed{}}{7} - 1\frac{4}{7}$
 $= \boxed{}\frac{\boxed{}}{7}$

$1 = \frac{\boxed{}}{7}$ だから…。

